

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9(7)	家族同士の交流の場を設けるなど、ホームへの意見を気軽に出示てもらえるような取り組みが不十分	感染症等の対策を講じながら家族同士が交流できる場を設ける	介護保険や認知症などについての勉強会と意見交換会の開催 施設内への家族の立ち入りが難しい場合は公民館などを利用し開催 開催後家族へのアンケートを実施し、出席率と家族・職員の感想等をまとめ、第2回開催を次の目標とする。	12ヶ月
2	16(12)	介護計画の評価から新たな課題を導き出すためにも、介護計画のニーズや目標について、個別性を重視し、より具体的な内容で作成することが望まれる。	利用者個々のニーズを文章化し、達成可能で具体的な計画を立案する。	介護計画の表記の仕方をより具体的に文章化する。 職員が常日頃から利用者全員に行っているようなサービスについては省き、短期目標の期間内で実施でき、かつ、楽しみや生きがいにつながるような項目を最低1つ立案する。 利用者の生活歴などを参考にするため、毎月の家族と施設との情報交換の際に家族にも意見を求める。また、計画実施担当者として家族にも協力を得られるよう依頼する。	12ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。